

中央区民の健康・食育に関する 意識調査 報告書（概要版）

令和5（2023）年3月
中央区

1 調査の目的

区民の健康づくりを計画的に推進するための「中央区健康・食育プラン2013（以下「プラン」という。）」は、計画期間を平成25（2013）年度から令和5（2023）年度としています。（令和3（2021）年度に計画期間を1年延長済）プランの最終評価に向け必要となる資料を収集するため、区民の健康状態や意識、生活習慣、食育・食生活等の実態調査を実施しました。

2 調査の実施概要

調査地域	中央区全域																
調査対象	中央区民																
調査手法	郵送調査（郵送により調査票を配付するとともに、回答済み調査票を回収） ※調査期間中、はがきによる督促を1回実施。																
実施方法	<p>「成人」と「子ども」の2種類の調査票を配付。</p> <p><「成人」と「子ども」の調査概要について>※1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査票種別</th> <th>成人</th> <th>子ども</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設問数</td> <td>73 問</td> <td>45 問</td> </tr> <tr> <td>対象者</td> <td>18 歳以上の成人 (本人が回答)</td> <td>17 歳以下の子ども (原則として保護者が回答)</td> </tr> <tr> <td>対象者数</td> <td>2,000 人</td> <td>800 人</td> </tr> <tr> <td>対象者数内訳</td> <td>・18・19 歳…男女各 33 人 ・20 歳代・30 歳代・40 歳代・50 歳代・60 歳代および 70 歳以上 …各年代 男女 161 人程度</td> <td>・未就学児・小学生・中学生…各 就学区分 男女 108 人 ・17 歳までの高校生…男女各 76 人</td> </tr> </tbody> </table>		調査票種別	成人	子ども	設問数	73 問	45 問	対象者	18 歳以上の成人 (本人が回答)	17 歳以下の子ども (原則として保護者が回答)	対象者数	2,000 人	800 人	対象者数内訳	・18・19 歳…男女各 33 人 ・20 歳代・30 歳代・40 歳代・50 歳代・60 歳代および 70 歳以上 …各年代 男女 161 人程度	・未就学児・小学生・中学生…各 就学区分 男女 108 人 ・17 歳までの高校生…男女各 76 人
調査票種別	成人	子ども															
設問数	73 問	45 問															
対象者	18 歳以上の成人 (本人が回答)	17 歳以下の子ども (原則として保護者が回答)															
対象者数	2,000 人	800 人															
対象者数内訳	・18・19 歳…男女各 33 人 ・20 歳代・30 歳代・40 歳代・50 歳代・60 歳代および 70 歳以上 …各年代 男女 161 人程度	・未就学児・小学生・中学生…各 就学区分 男女 108 人 ・17 歳までの高校生…男女各 76 人															
抽出方法	住民基本台帳より層化系統抽出※2を実施。																
調査期間	令和4年5月30日（月）～6月20日（月）																

※1 成人年齢の引き下げと成人調査・子ども調査の対象者について

令和4年度調査では、令和4年4月から成人年齢が引き下げられたことに伴い、成人対象を18歳以上としています。過去に実施した当調査（平成23年度・平成28年度）においても、調査対象者数は令和4年度と同じく成人調査2,000人・子ども調査800人としていますが、年代による内訳が異なります。

※2 層化系統抽出：母集団から標本を抽出する時、母集団をいくつかの層（群）に分け、そこから適切な比率で標本を抽出する方法。当調査では年齢別・性別層別に無作為抽出を行っています。

【有効回収数と有効回収率】

調査種別	配付数 (件)	有効回収数 (件)	有効回収率 (%)	(参考) 平成 28 年度 有効回収率 (%)
成人	2,000	811	40.6%	43.0%
子ども	800	442	55.3%	51.1%
合計	2,800	1,253	44.8%	45.3%

3 調査結果の見方

- 調査結果の数値は、回答率(%)で表示しています。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は全体およびnで示しています。
- 回答率(%)については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。このため、その合計数値は必ずしも100%とはならない場合があります。
- 回答には、単一回答(○は1つ)と複数回答(○はいくつでも)の2種類があります。複数回答の場合、その回答率(%)の合計は100%を超える場合があります。
- 図表の問のタイトルおよび回答の選択肢は、簡略化して表現している場合があります。正式な問のタイトルおよび回答の選択肢は、調査票をご参照ください。
- 調査結果は、各設問の回答対象者全体における集計結果のほか、性別や年代などの属性を考慮した集計を行っています。

そのため、性別や年代の未回答により、集計結果における属性ごとの回答者数の合計が、当該設問の回答対象者全体の回答者数と一致しない場合があります。

(例：男女それぞれの回答者数の合計と、対象者全体の回答者数の合計が一致しない。)

目次

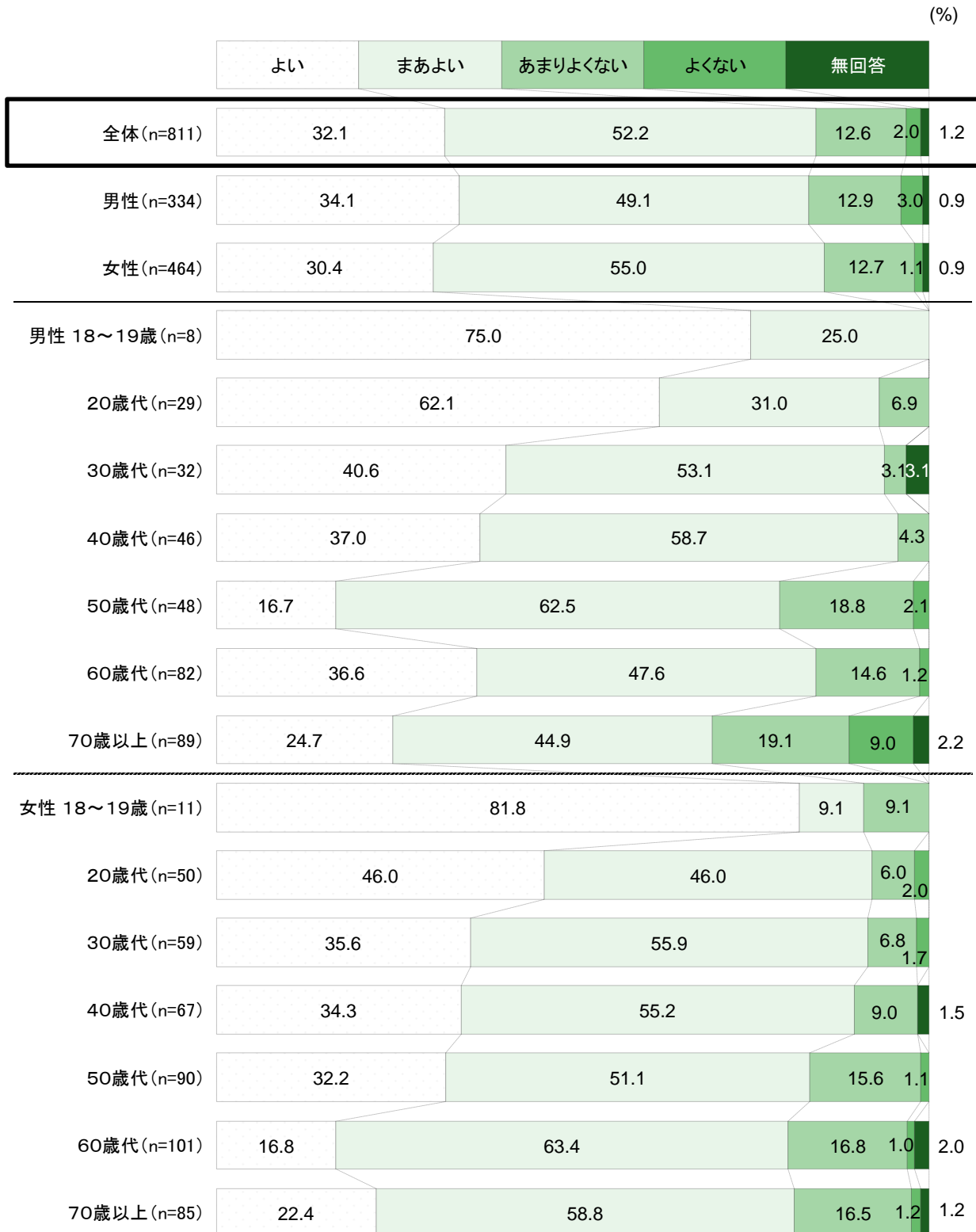
健康状態	1
自分自身の健康状態の感じ方	1
肥満およびやせの状況（成人）	2
肥満およびやせの状況（子ども）	3
健康診査	5
健康診査の受診状況	5
がん対策	6
がん検診の受診状況	6
栄養・食育	7
朝食の摂取状況（成人）	7
朝食の摂取状況（子ども）	8
主食、主菜、副菜をそろえた食事の回数	9
果物の1日の摂取量	10
野菜の1日の摂取目標量の認知状況	11
野菜の1日の摂取状況	11
減塩に気をつけた食生活の実践	12
共食	13
そしゃく状況（「嚙ミング30」の認知・実施状況）	14
運動	15
運動習慣	15
日常生活における歩数	16
喫煙	17
喫煙状況	17
アルコール	19
1日の飲酒量	19
こころの健康	20
睡眠	20
ストレス	21
自殺	21
歯と口の健康づくり	22
歯科医院受診状況	22
デンタルフロスや歯間ブラシの使用状況	23
子どもが甘いお菓子を食べる頻度	24

健康状態

自分自身の健康状態の感じ方

- 健康状態を、「よい」「まあよい」と感じている人の合計は84.3%、「あまりよくない」「よくない」と感じている人の合計は14.6%となっています。

問 あなたは、ご自身の現在の健康状態をどのように感じていますか。

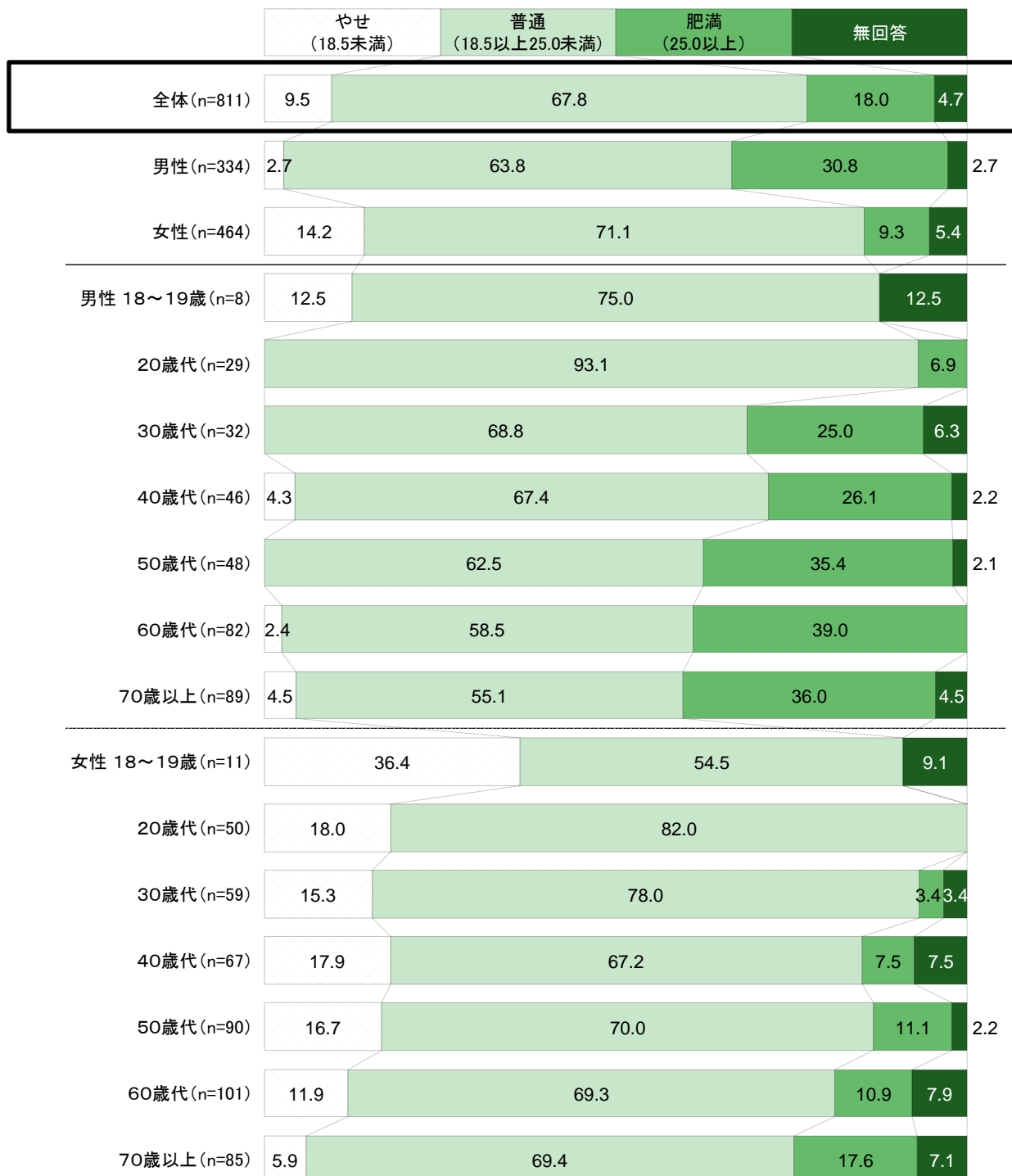


肥満およびやせの状況（成人）

- 「やせ」が9.5%、「普通」が67.8%、「肥満」が18.0%となっています。
 - 男性は女性に比べて「肥満」の割合が高く、女性は男性に比べて「やせ」の割合が高くなっています。
- 男性 50 歳代以上で「肥満」が 35%以上となっています。一方、女性 20 歳代から 50 歳代で「やせ」が 15%～18%程度となっています。

問 あなたの身長と体重をご記入ください。

※身長と体重から BMI（体格指数）を算出（4 ページ参照）、「やせ」「普通」「肥満」に区分しています。
(%)



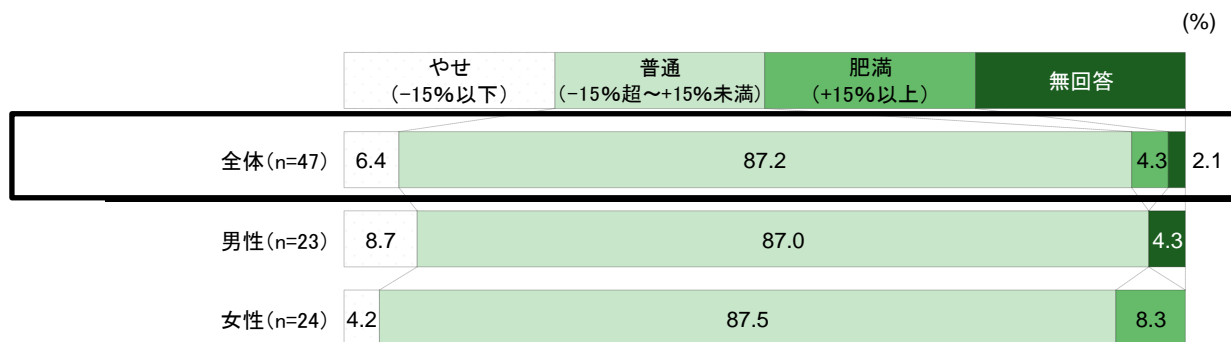
肥満およびやせの状況（子ども）

● 3～5歳児の肥満およびやせの状況

- 「やせ」が6.4%、「普通」が87.2%、「肥満」が4.3%となっています。

問 あて名のお子さんの身長と体重を記入してください。

※身長と体重から年齢に合わせた方法で算出しています。



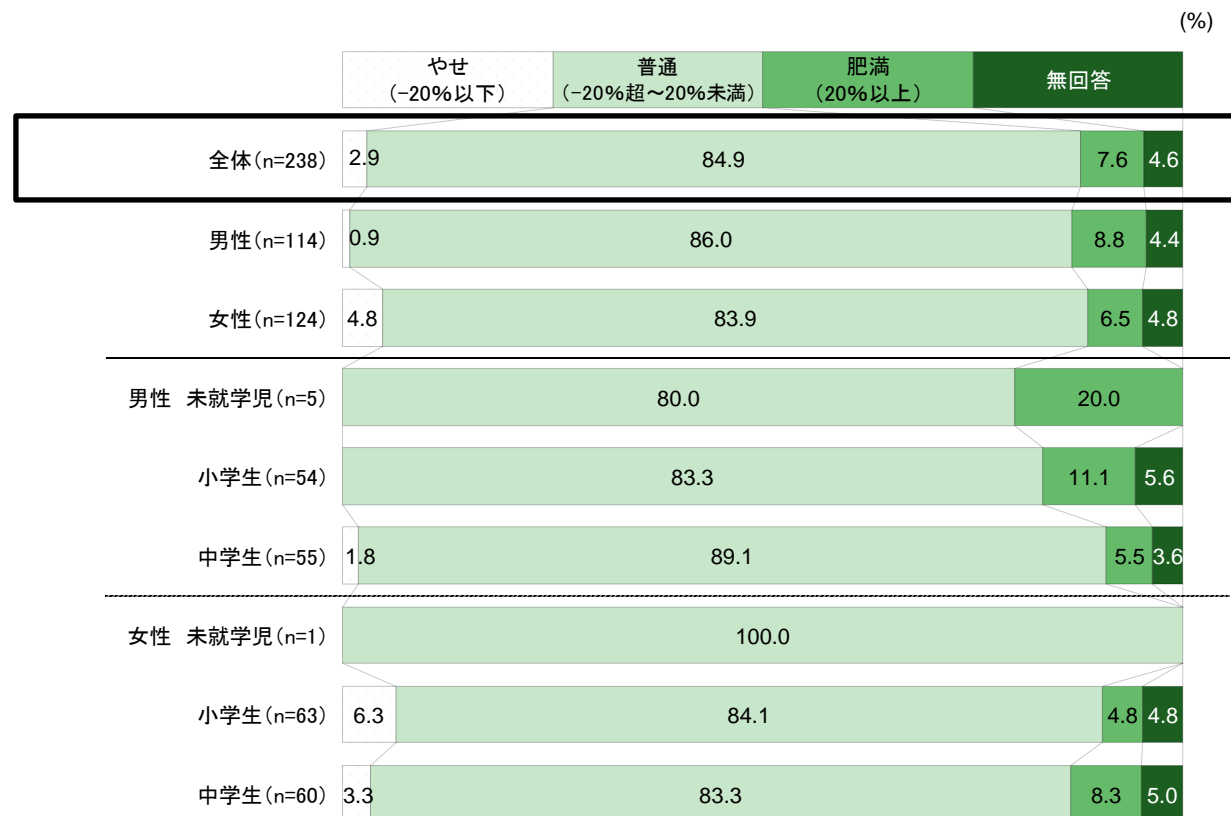
厚生労働省「肥満並びにやせに該当する者の割合の評価方法」に示された幼児身長体重曲線を用いた評価方法にて算出。肥満度は6区分で示されていますが、ここでは3区分にまとめて表記しています。

● 6～14歳の肥満およびやせの状況

- 「やせ」が2.9%、「普通」が84.9%、「肥満」が7.6%となっています。

問 あて名のお子さんの身長と体重を記入してください。

※身長と体重から年齢に合わせた方法で算出しています。



厚生労働省「肥満並びにやせに該当する者の割合の評価方法」に示された学校保健統計調査方式を用いた評価方法にて算出。肥満度は6区分で示されていますが、ここでは3区分にまとめて表記しています。

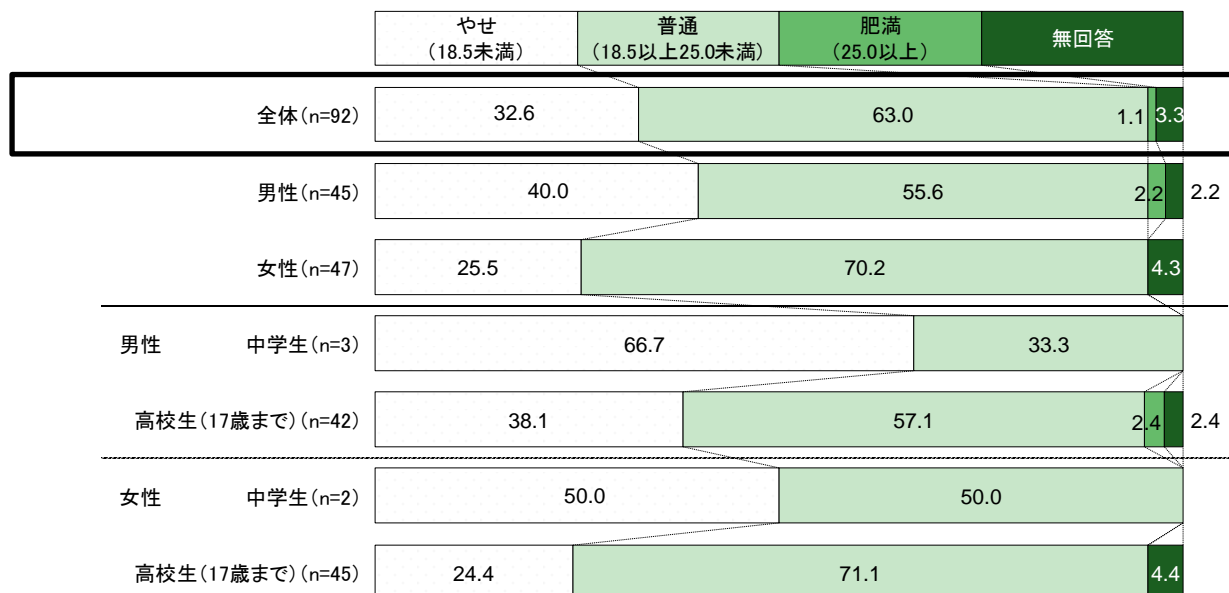
●15～17 歳の肥満およびやせの状況

- 「やせ」が 32.6%、「普通」が 63.0%、「肥満」が 1.1%となっています。

問 あて名のお子さんの身長と体重を記入してください。

※成人と同様に身長と体重から BMI（体格指数）を算出しています。

(%)



BMI による肥満の判定

- ・算出方法：BMI＝体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m))
- ・男女とも、BMI＝22 が標準体重とされる
- ・肥満度は6区分で示されるが、ここでは3区分にまとめて表記

判定基準	やせ	普通	肥満
BMI	18.5 未満	18.5 以上 25.0 未満	25.0 以上

- ・肥満度分類（日本肥満学会（肥満症診療ガイドライン 2022）による肥満の判定基準）

BMI (kg/m ²)	判定	WHO 基準
BMI < 18.5	低体重	Underweight
18.5 ≤ BMI < 25	普通体重	Normal range
25 ≤ BMI < 30	肥満 (1度)	Pre-obese
30 ≤ BMI < 35	肥満 (2度)	Obese class I
35 ≤ BMI < 40	高度肥満	肥満 (3度)
40 ≤ BMI		肥満 (4度)
		Obese class III

～適正体重の維持～

体重は、健康と栄養状態の目安として重要です。

太り過ぎは循環器疾患、糖尿病などの生活習慣病の原因となりますが、一方でやせ過ぎも若い女性では、骨量減少、低出生体重児出産のリスクがあり、高齢者では虚弱の原因となるなどの問題があります。

自分の適正体重を把握し、維持するようにしましょう。

健康診査

健康診査の受診状況

- 「職場で実施する健康診査を受けた」人が 38.2%、「区で実施する健康診査を受けた」人が 25.0%の一方、「健康診査は受けていない」人が 18.1%となっています。

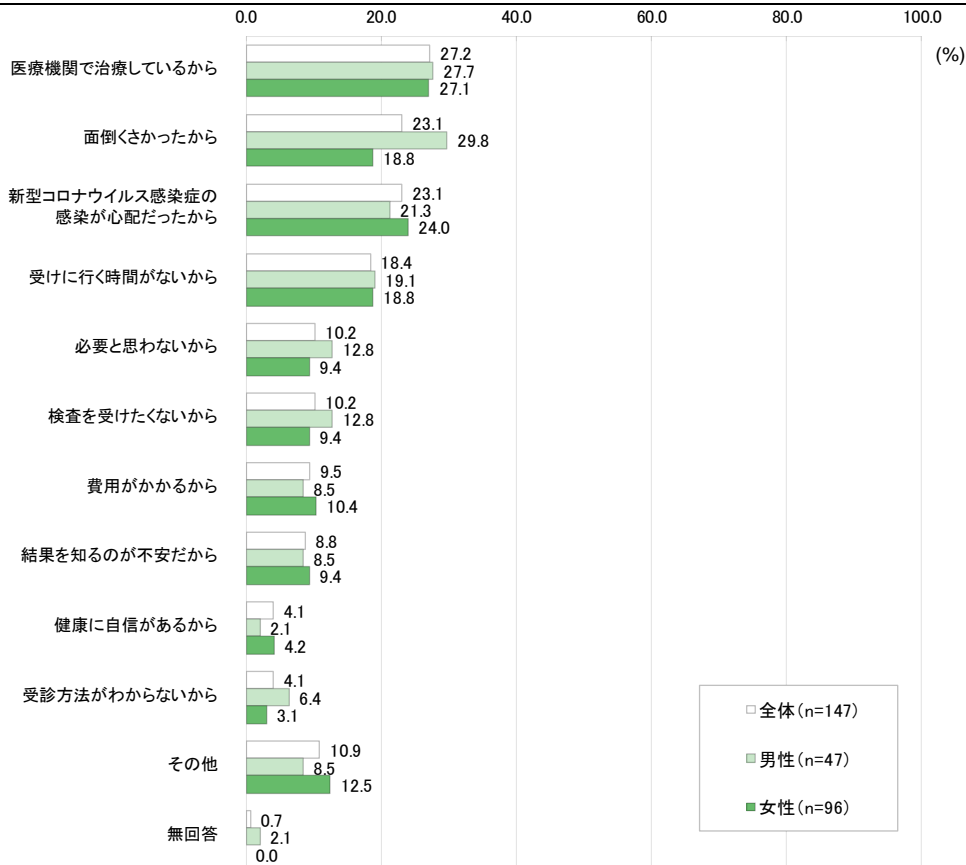
問 あなたは、この1年間に健康診査（健康診断）を受けましたか。

		(%)							
n=(人)	職場で実施する健康診査を受けた	区で実施する健康診査を受けた	個人で人間ドックなどを受けた	健康保険組合などで実施する健康診査を受けた	その他を受けた	学校で実施する健康診査を受けた	健康診査は受けていない	無回答	
全体	811	38.2	25.0	10.5	9.4	4.2	2.8	18.1	1.1
男性	334	42.8	21.9	13.2	9.0	4.2	3.3	14.1	0.9
女性	464	35.1	27.4	8.6	9.9	4.3	2.6	20.7	0.9

●健康診査を受けなかった理由 ※回答対象：健康診査を受けなかった人

- 健康診査を受けなかった理由は、「医療機関で治療しているから」が最も高く、次いで「面倒くさかったから」と「新型コロナウイルス感染症の感染が心配だったから」が同率で続いています。

問 健康診査を受けなかった理由は何ですか。

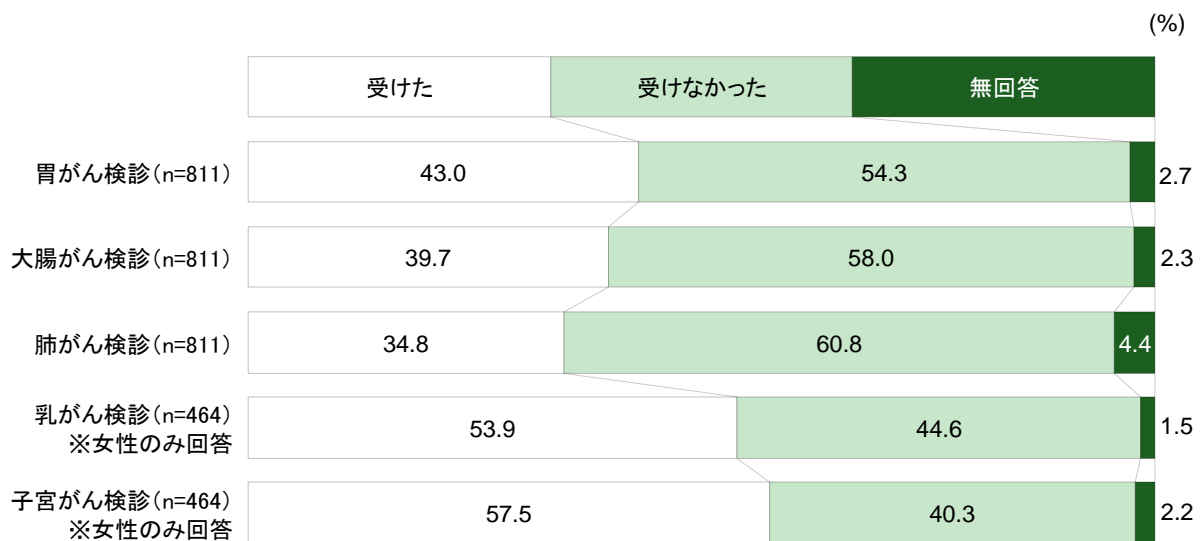


がん対策

がん検診の受診状況

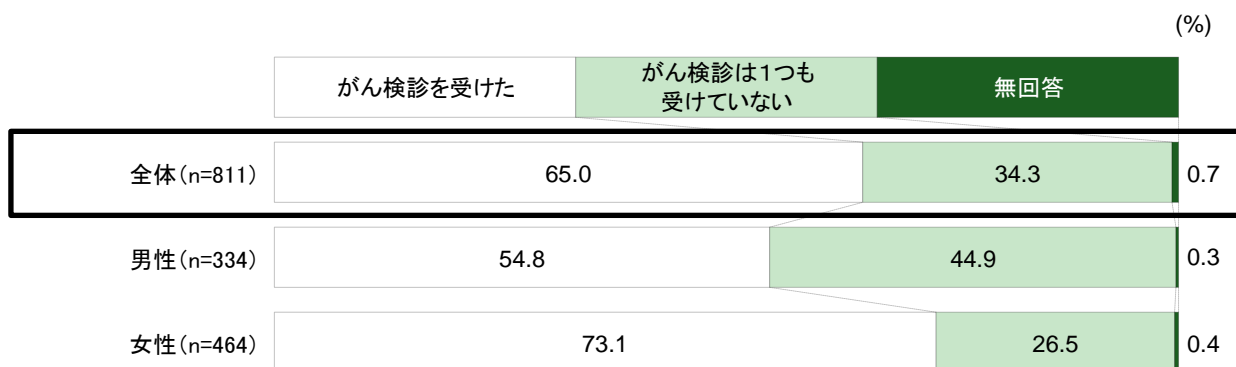
- 各がん検診の受診状況を見ると、検診を「受けた」人の割合は、「胃がん検診」で43.0%、「大腸がん検診」で39.7%、「肺がん検診」で34.8%となっています。
- 女性対象の「乳がん検診」と「子宮がん検診」を「受けた」人の割合は、それぞれ55%程度となっています。

問 次のがん検診（区で実施する検診以外も含む）について、過去（それぞれに掲げる期間内）に受けたことがありますか。



●何らかのがん検診を受けた人

- 何らかの「がん検診を受けた」人は65.0%となっています。
- 男性では「がん検診は1つも受けていない」人が44.9%で、女性に比べて高くなっています。



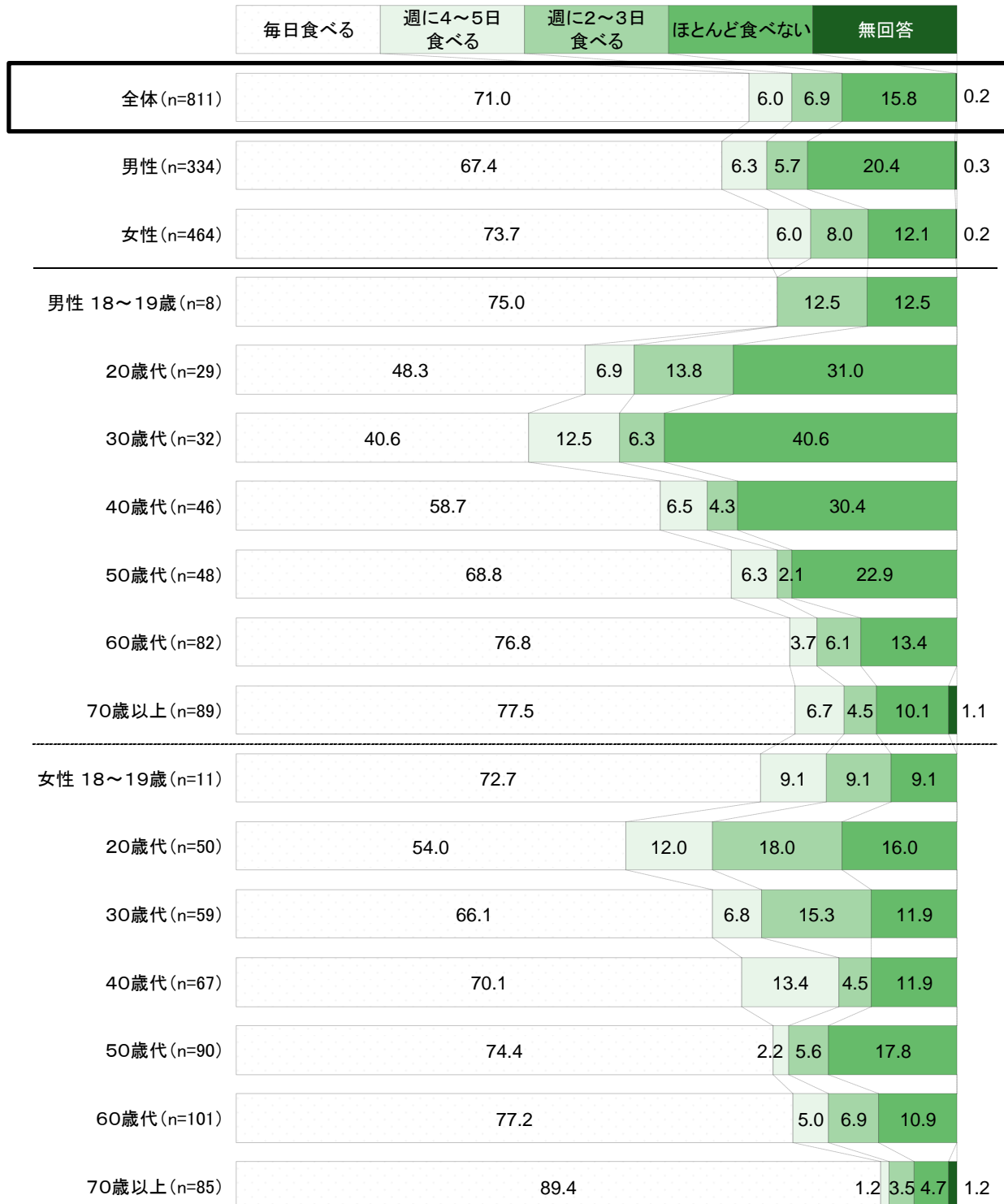
栄養・食育

朝食の摂取状況（成人）

- 朝食を「毎日食べる」人は71.0%、「ほとんど食べない」人は15.8%となっています。
- 男性20歳代から40歳代では「ほとんど食べない」が3割～4割程度で、他の性別・年代に比べて高くなっています。

問 あなたは、朝食を食べていますか。

(%)

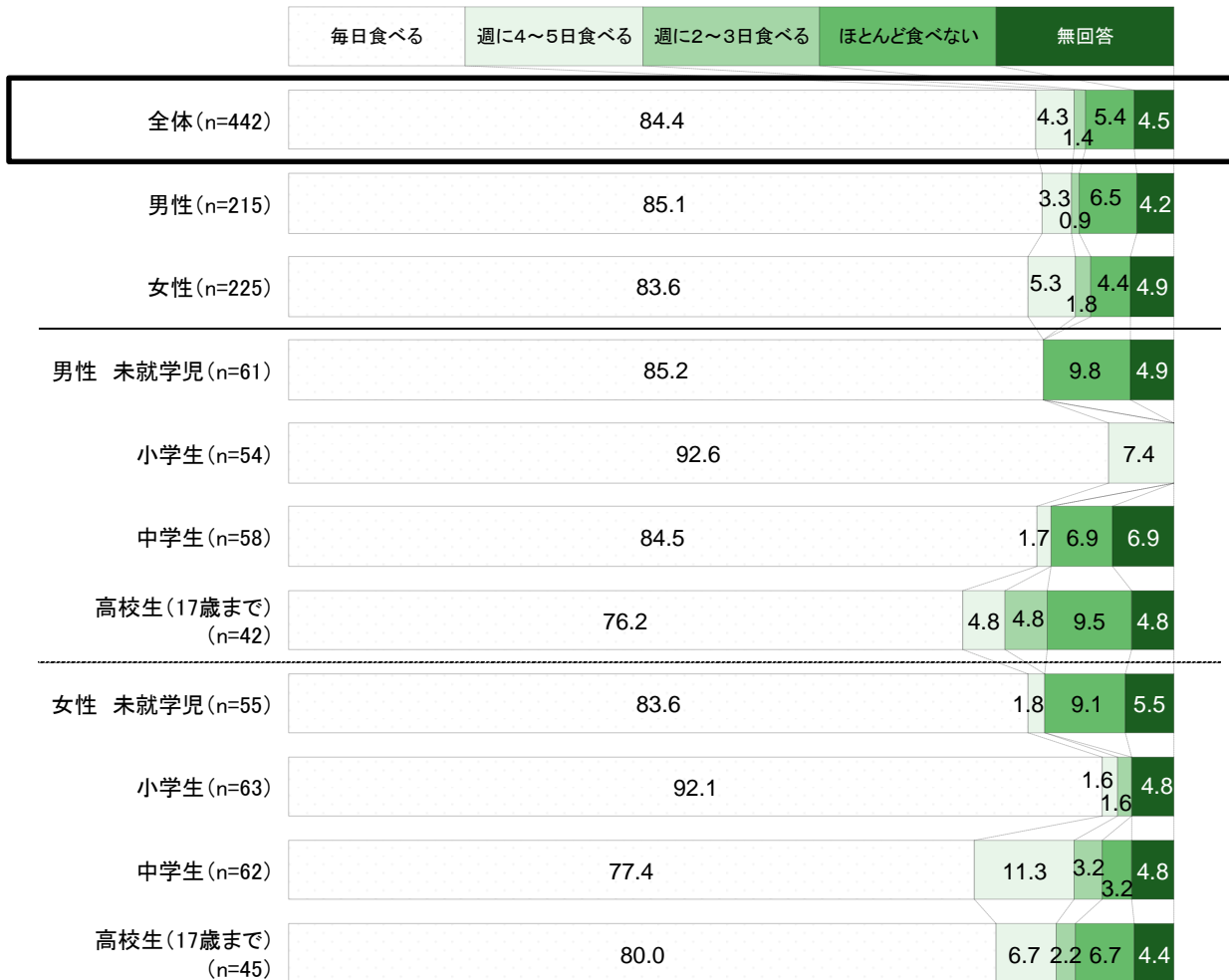


朝食の摂取状況（子ども）

- 朝食を「毎日食べる」人が84.4%、「ほとんど食べない」人が5.4%となっています。
- 男女とも小学生は「毎日食べる」が9割を超えており、他の性別・就学状況に比べて高くなっています。

問 あて名のお子さんは、朝食を食べていますか。

(%)



バランスのよい食事とは、エネルギー・産生栄養素（炭水化物・たんぱく質・脂質）のバランスがとれ、適量のビタミン、ミネラルもとれる食事です。

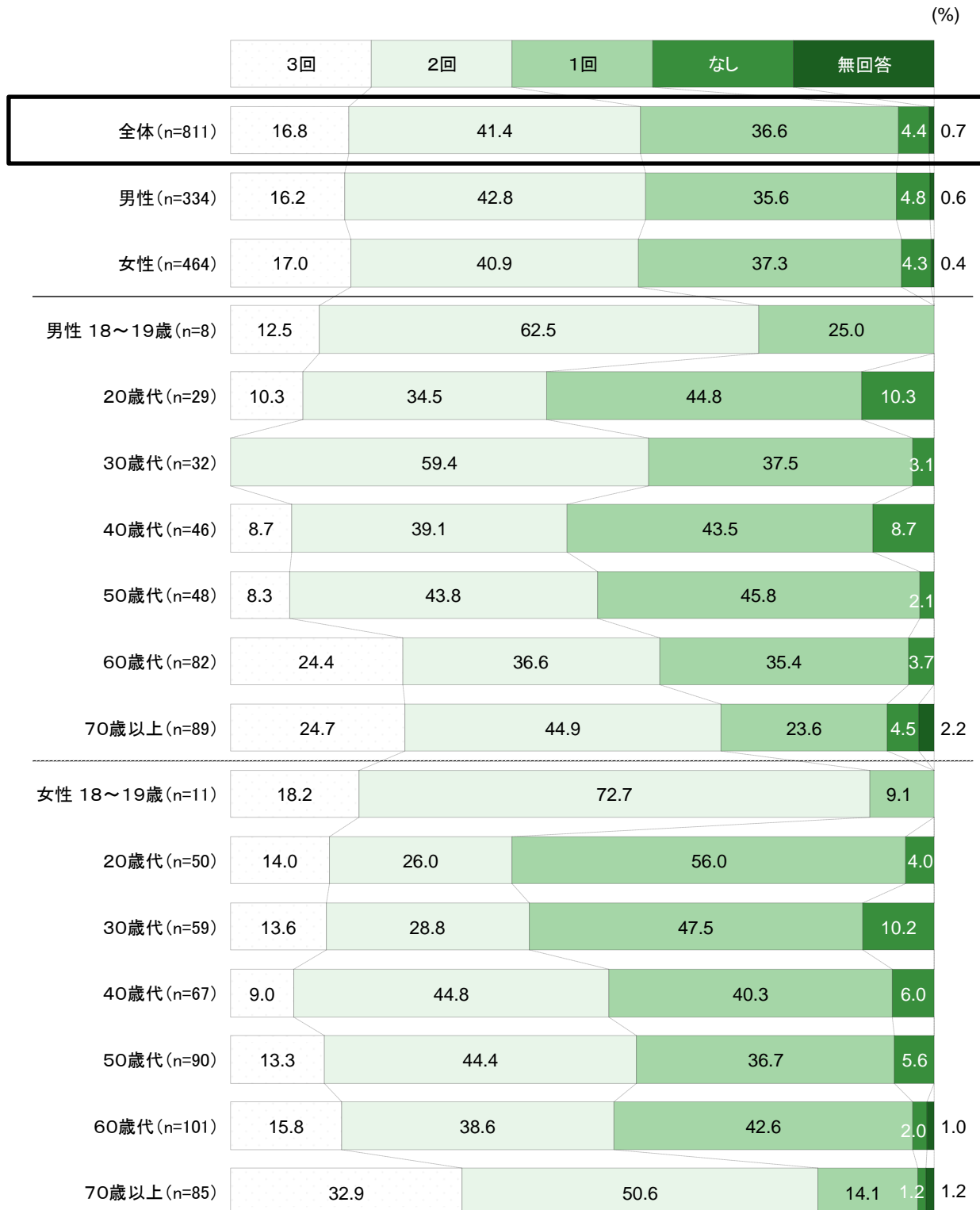
一汁三菜を基本とした主食・主菜・副菜を組み合わせた食事をとると栄養のバランスが整いやすくなります。



主食、主菜、副菜をそろえた食事の回数

- 主食・主菜・副菜をそろえた食事の回数は、「3回」が16.8%、「2回」が41.4%、「1回」が36.6%、「なし」が4.4%となっています。
- 女性70歳以上では「3回」が3割強で、他の性別・年代に比べて高くなっています。一方、男性20歳代と女性30歳代の1割が「なし」と回答しています。

問 あなたはふだん、主食（ごはん・パン・めんなど）、主菜（肉・魚・卵・豆など）、副菜（野菜・きのこ・海藻など）をそろえた食事を1日何回していますか。

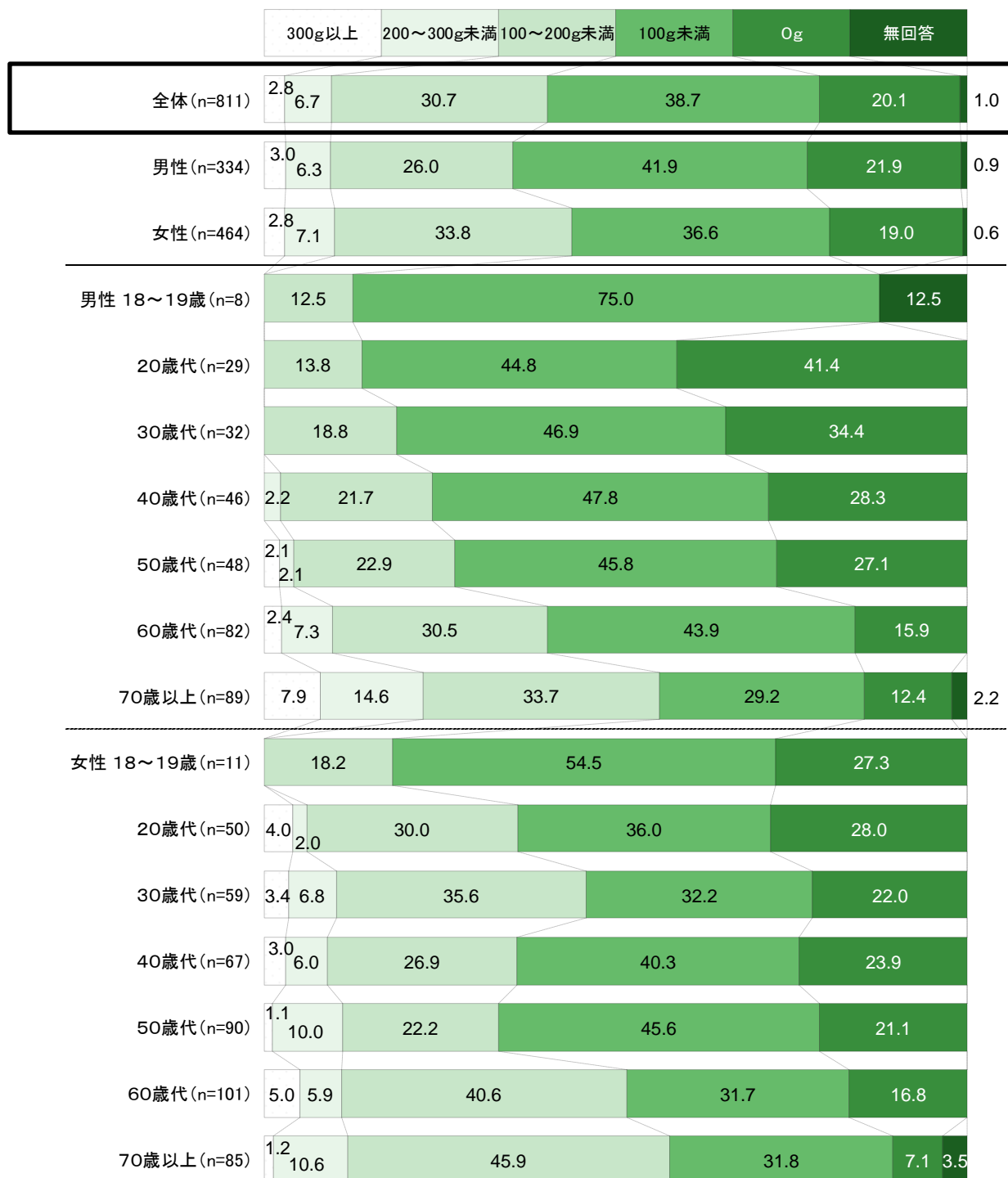


果物の1日の摂取量

- 果物の1日の摂取量は、「300g以上」が2.8%、「200～300g未満」が6.7%、「100～200g未満」が30.7%、「100g未満」が38.7%、「0g」が20.1%となっています。

問 あなたは、毎日果物をどのくらい食べていますか。

(%)



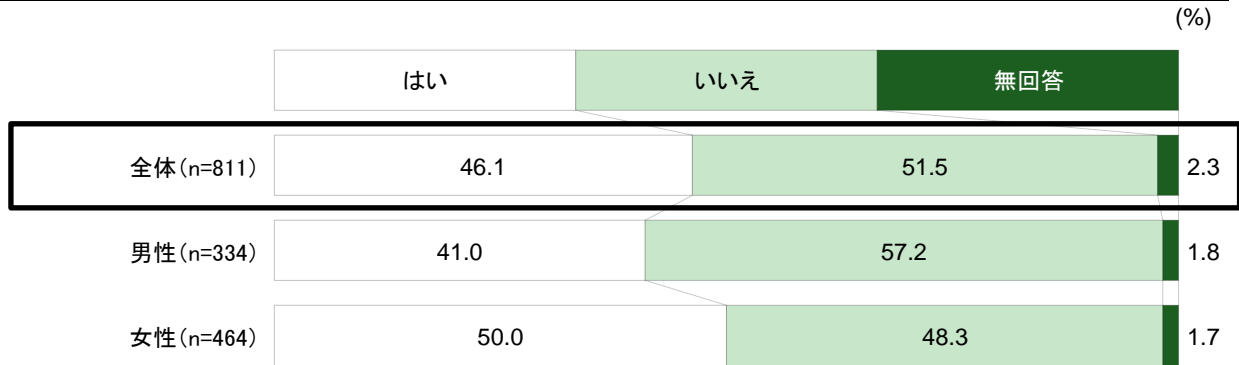
「食事バランスガイド」において、果物の1日分の摂取目安は約200gと示されています。また、農林水産省は関係団体等と連携して、「毎日くだもの200グラム運動」を推進しています。



野菜の1日の摂取目標量の認知状況

- 野菜の1日の摂取目標量を、「知っている（はい）」人が46.1%、「知らない（いいえ）」人が51.5%となっています。
- 女性の5割が「知っている（はい）」と回答しており、男性に比べて高くなっています。

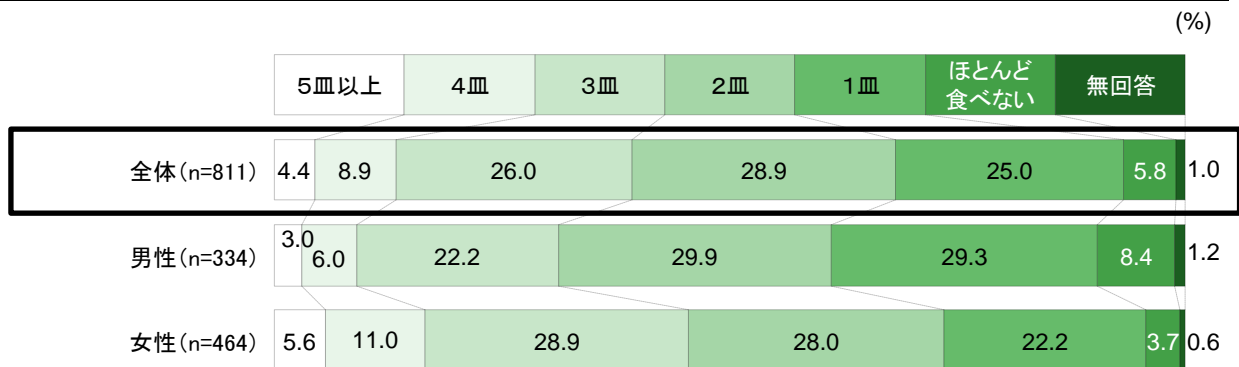
問 あなたは、野菜の1日の摂取目標量（350g以上）を知っていますか。



野菜の1日の摂取状況

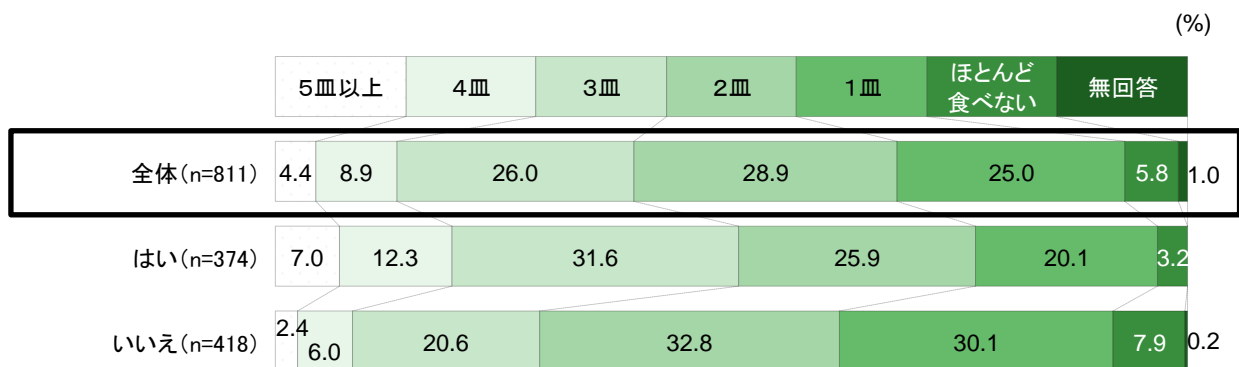
- 1日の野菜摂取状況は、「5皿以上」が4.4%、「4皿」が8.9%、「3皿」が26.0%、「2皿」が28.9%、「1皿」が25.0%、「ほとんど食べない」が5.8%となっています。

問 あなたは、野菜料理を1日何皿（または何鉢）食べていますか。



<野菜の1日の摂取目標量の認知状況別 野菜の1日の摂取状況>

- 野菜の1日の摂取目標量の認知状況別に野菜の摂取状況を見ると、摂取目標量認知者の方が摂取量が多く、「知っている（はい）」と回答した人は「5皿以上」から「3皿」までで50.9%、「知らない（いいえ）」と回答した人は29.0%となっています。



中央区では「食べよう野菜 350（サン・ゴー・マル）」

～毎日 350 g 以上の野菜を食べよう～ 運動を進めています。

健康維持・増進のために、成人 1 日あたり 350 g 以上の野菜を食べることを推進しています。

「野菜料理 1 皿 = 70 g」と置き換えて、毎日 5 皿以上の野菜料理を食べると、350 g の野菜がとりやすくなります。

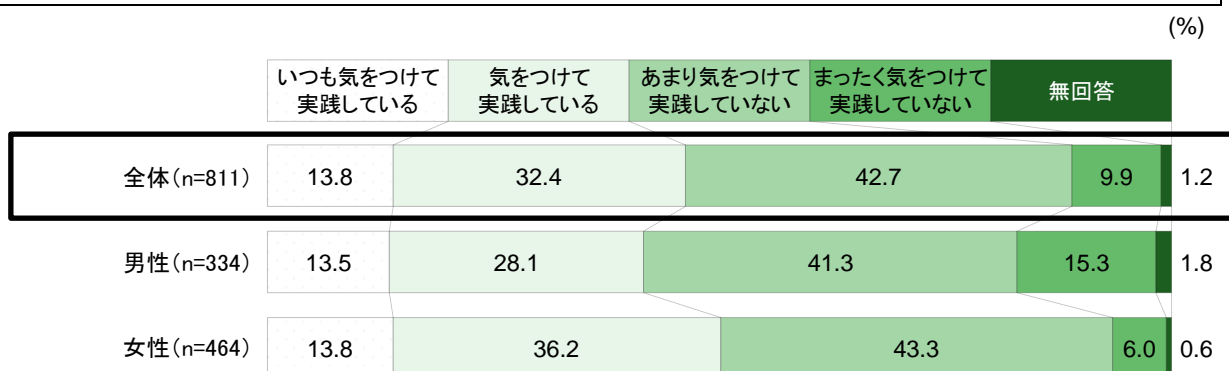
中央区食育野菜キャラクターは、毎日 350 g 以上の野菜を食べることを呼びかけて、区民の健康づくりを応援するキャラクターです。



減塩に気をつけた食生活の実践

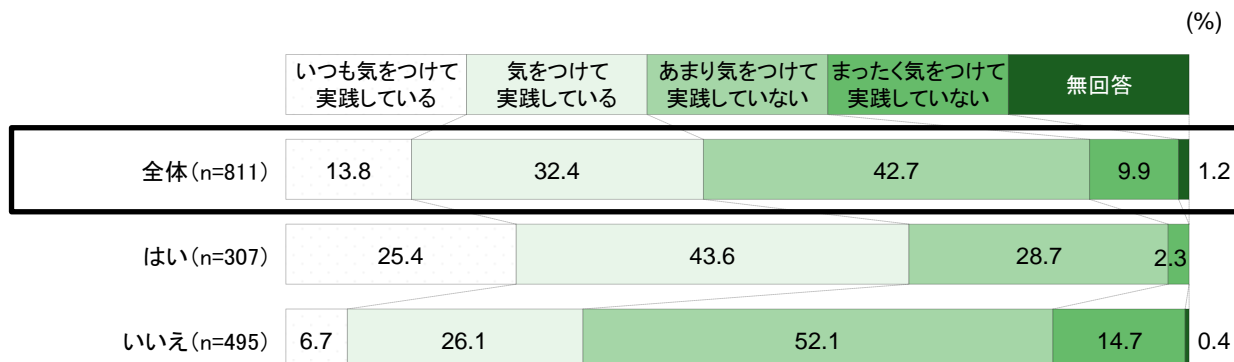
- 減塩に気をつけた食生活の実践状況は、「いつも気をつけて実践している」「気をつけて実践している」人の合計が 46.2%、「あまり気をつけて実践していない」「まったく気をつけて実践していない」人の合計が 52.6%となっています。

問 あなたは、ふだんから減塩に気をつけた食生活を実践していますか。



<食塩の目標量認知状況別 減塩に気をつけた食生活の実践状況>

- 1 日の食塩の目標量の認知状況別に減塩に気をつけた食生活の実践状況をみると、目標量認知者の方が減塩に気をつけた食生活を実践しており、食塩の目標量を「知っている (はい)」と回答した人は「いつも気をつけて実践している」「気をつけて実践している」の合計で 69.0%、食塩の目標量を「知らない (いいえ)」と回答した人は 32.8%となっています。

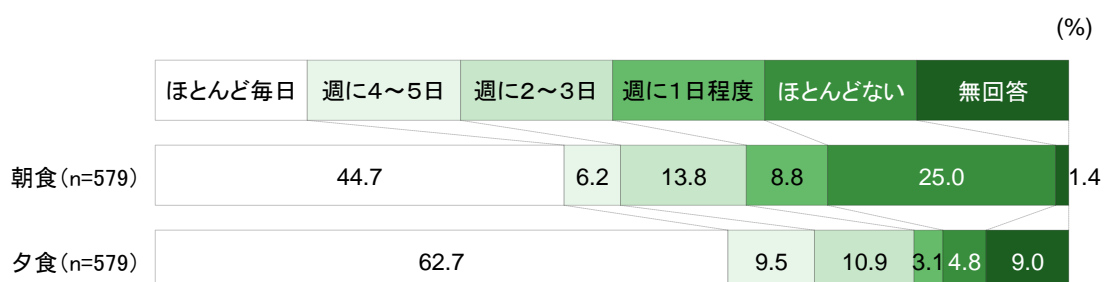


共食

●同居者と朝食・夕食を食べる頻度 ※回答対象：同居者がいる人

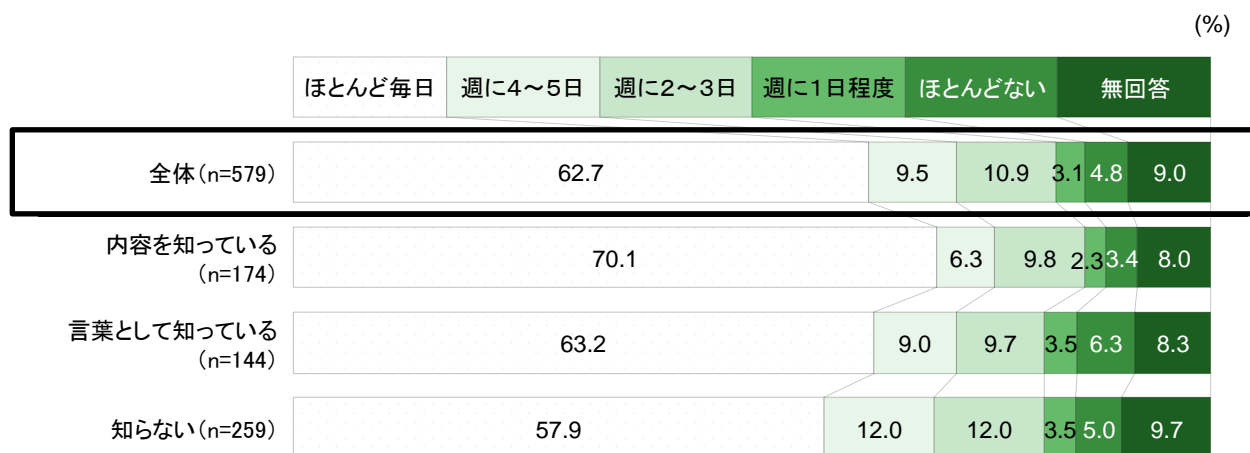
- 同居者と朝食を一緒に食べる頻度は、「ほとんど毎日」が44.7%、「ほとんどない」が25.0%となっています。
- 同居者と夕食を一緒に食べる頻度は、「ほとんど毎日」が62.7%、「ほとんどない」が4.8%となっています。

問 あなたは朝食、夕食を同居の方と一緒に食べることはどのくらいありますか。



<共食の認知状況別 同居者と夕食を食べる頻度>

- 共食の認知状況別に同居者と夕食を食べる頻度をみると、「内容を知っている」人は、「言葉として知っている」人や「知らない」人に比べて、「ほとんど毎日」と回答する割合が高くなっています。



共食とは、「みんなで一緒に食卓を囲んで共に食べること」です。
食卓を囲んで共に食事をとりながらコミュニケーションを図ることは、食育の原点であり、共食を通じて、食の楽しさを実感するだけでなく、食や生活に関する基礎を習得する機会になっています。



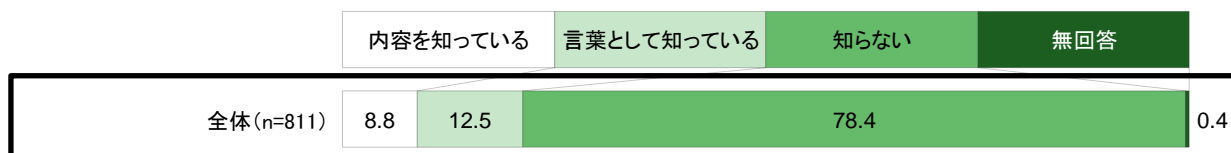
そしゃく状況（「噛ミング30」の認知・実施状況）

●成人の「噛ミング30」の認知状況

- 「内容を知っている」が8.8%、「言葉として知っている」が12.5%、「知らない」が78.4%となっています。

問 あなたは、「噛ミング30（カミングサンマル）」という言葉やその意味を知っていますか。

(%)

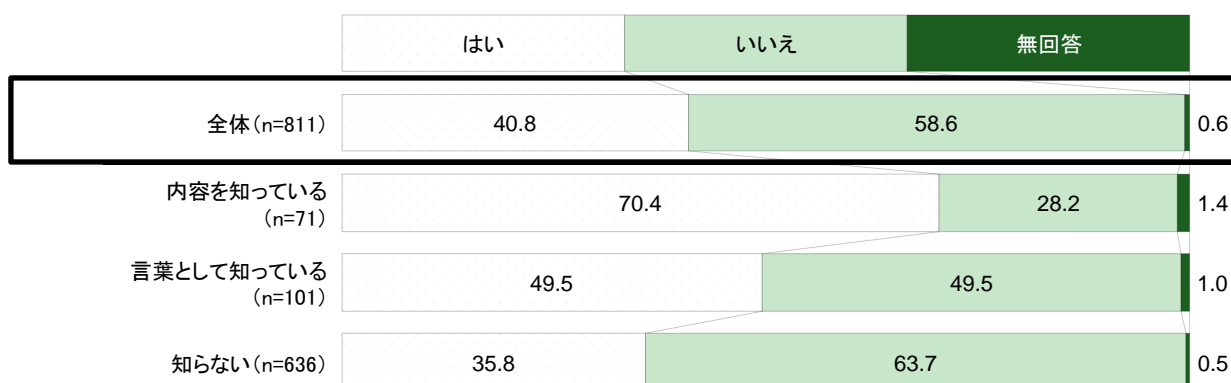


<噛ミング30の認知状況別 そしゃく状況（成人・噛ミング30の実施状況）>

- 「はい（よく噛んで味わって食べている）」が40.8%、「いいえ」が58.6%となっています。
- 噛ミング30の認知状況別にそしゃく状況をみると、「内容を知っている」人の方が、「言葉として知っている」人や「知らない」人に比べて、「はい（よく噛んで味わって食べている）」と回答する割合が高くなっています。

問 あなたはふだんの食生活において、よく噛んで（1口30回程度）味わって食べていますか。

(%)

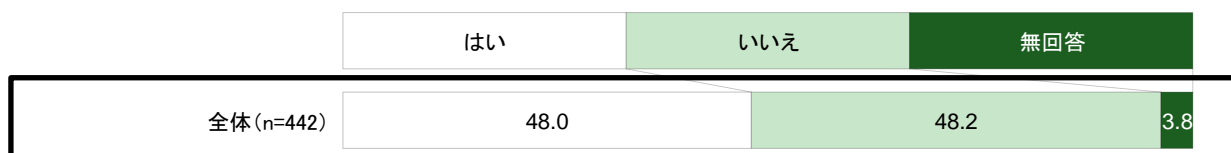


●子どもの「噛ミング30」の実施状況

- 「はい（よく噛んで味わって食べている）」が48.0%、「いいえ」が48.2%となっています。

問 あて名のお子さんはふだんの食生活において、よく噛んで（1口30回程度）味わって食べていますか。

(%)



中央区では「噛ミング30（カミングサンマル）」

～よく噛んで味わって食べよう～運動を進めています。

噛ミング30とは、ひとくち30回以上よく噛んで味わって食べることでより健康な生活を目指すためのキャッチフレーズです。

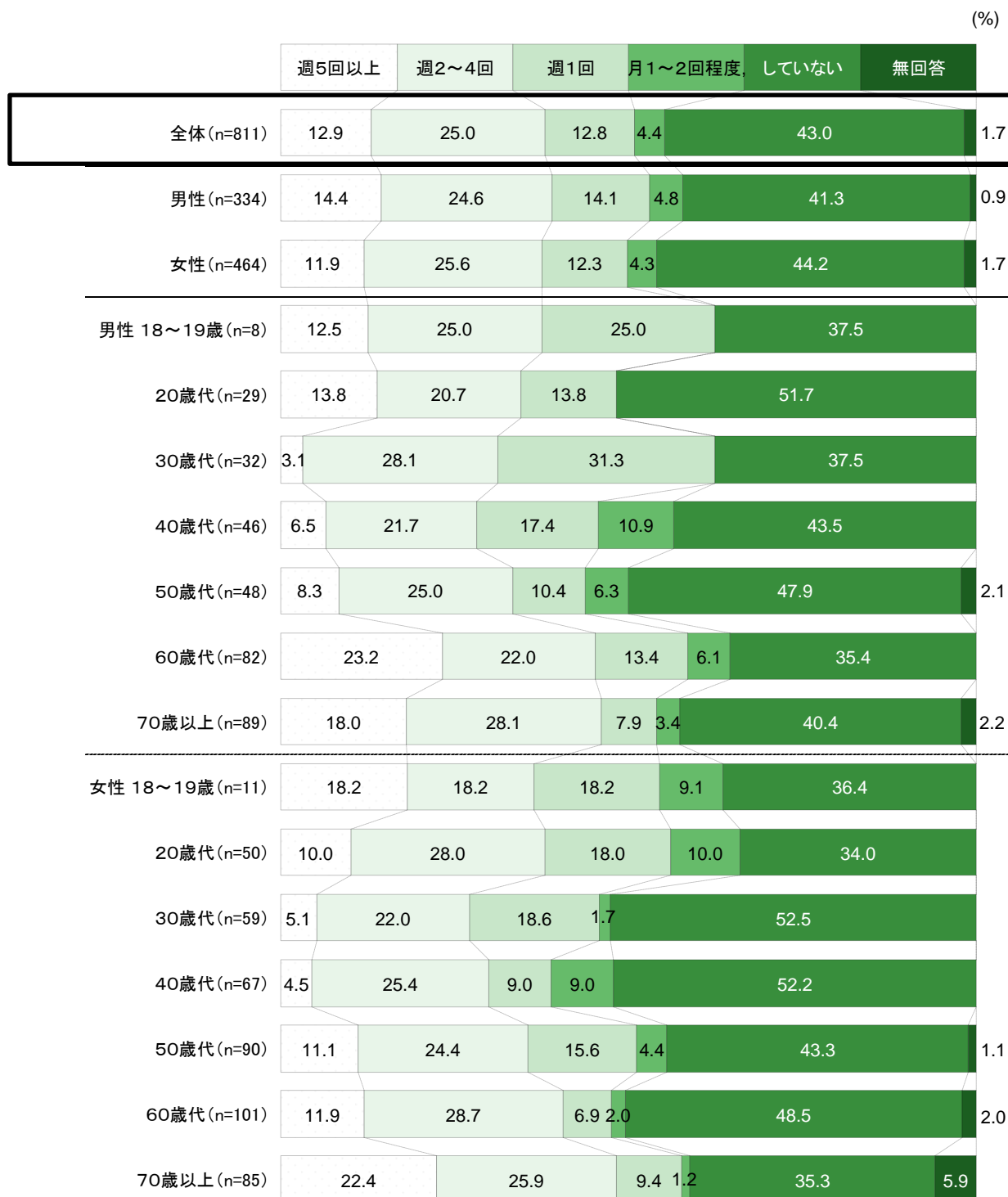


運動

運動習慣

- 「週5回以上」が12.9%、「週2～4回」が25.0%、「週1回」が12.8%、「月1～2回程度」が4.4%、「していない」が43.0%となっています。
- 男性60歳代と女性70歳以上の2割強が「週5回以上」と回答しています。

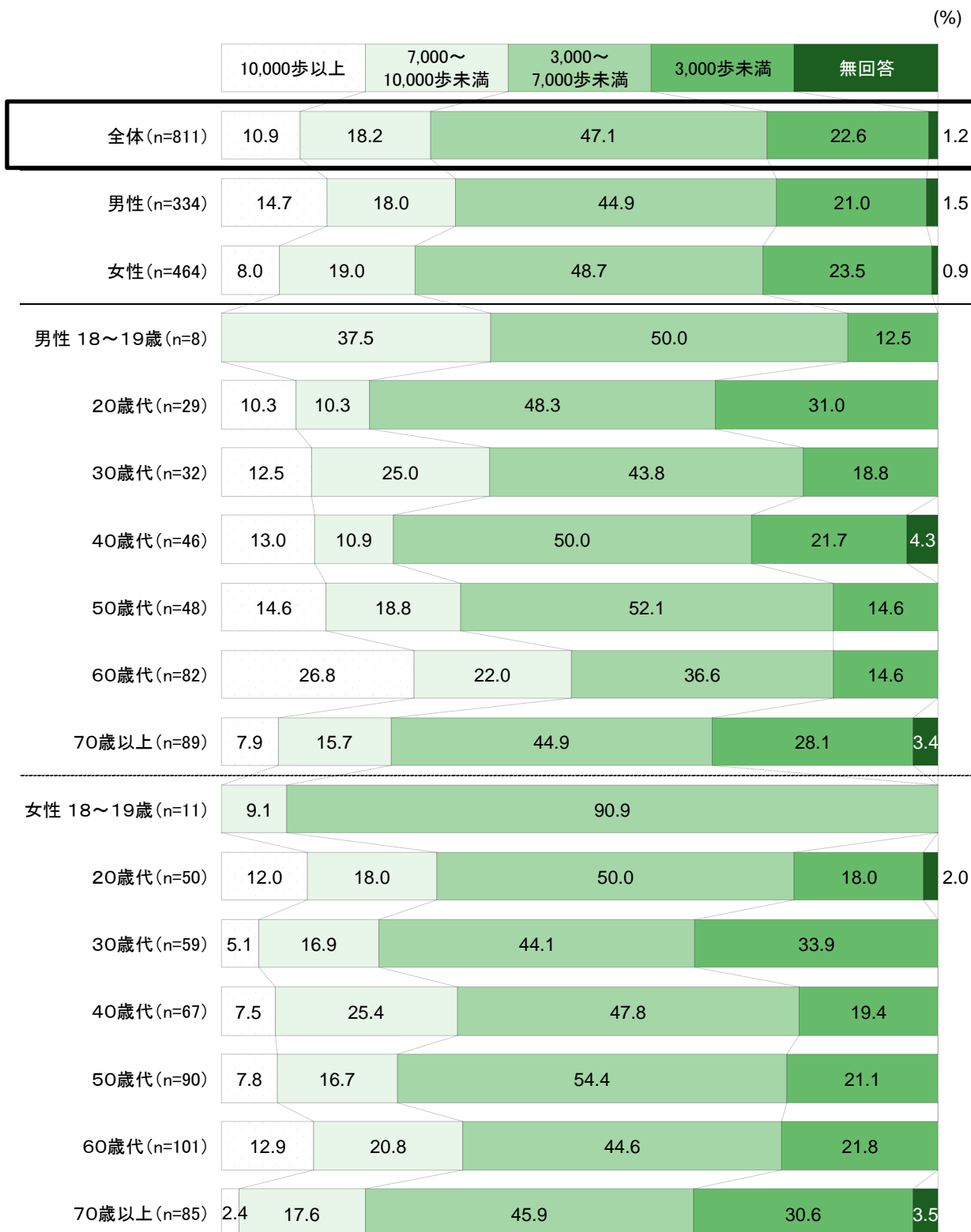
問 あなたはふだん、1回30分以上の運動やスポーツ（買い物や通勤などの日常生活上の動きを除く）を1年以上継続していますか。



日常生活における歩数

- 「10,000歩以上」が10.9%、「7,000～10,000歩未満」が18.2%、「3,000～7,000歩未満」が47.1%、「3,000歩未満」が22.6%となっています。
- 男性60歳代では「10,000歩以上」が25%強で、他の性別・年代に比べて高くなっています。

問 あなたは、日常生活の中で、室内の移動や散歩なども含めて、1日にどのくらい歩いていますか。以下の時間や距離を目安にお答えください。



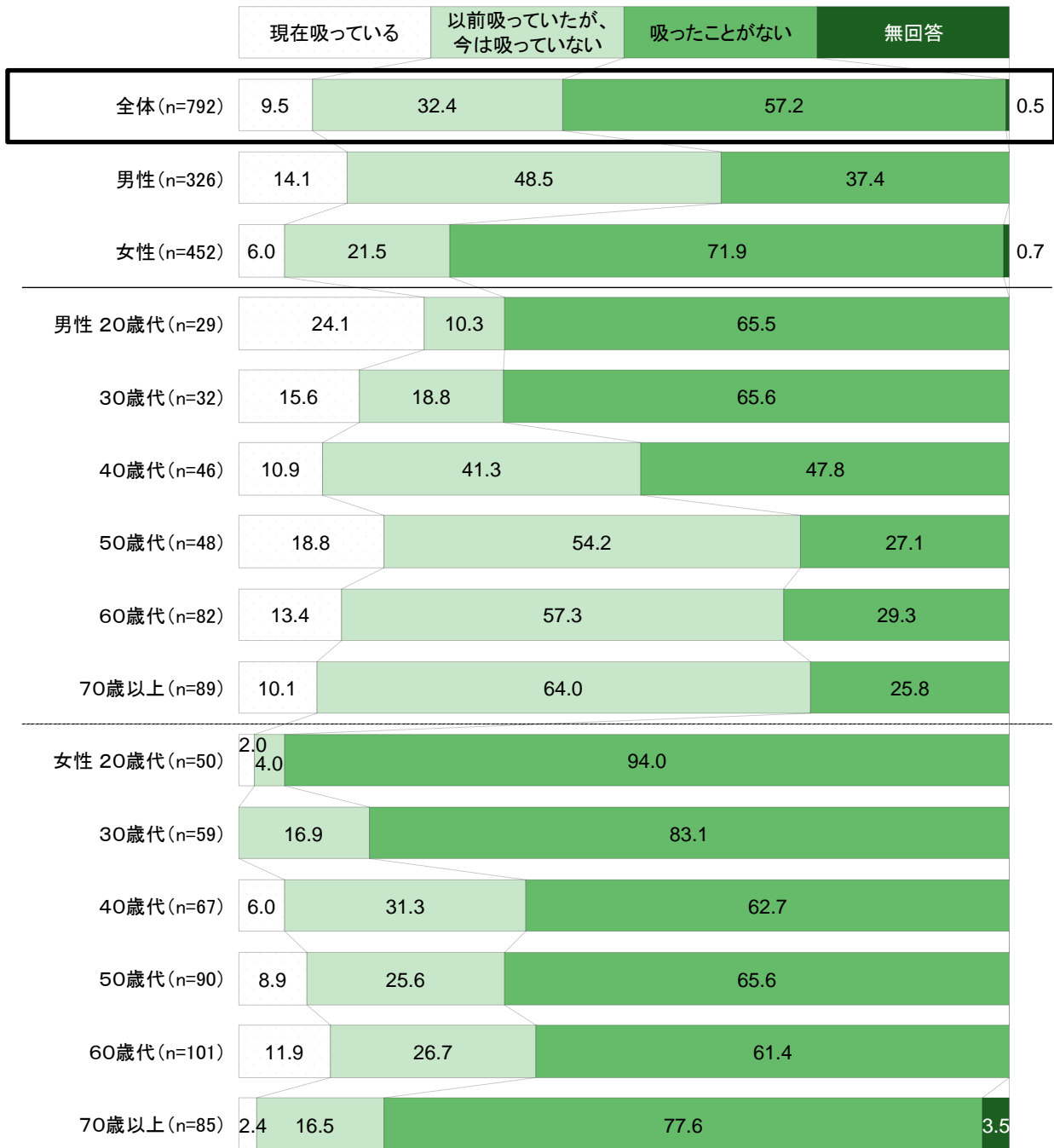
喫煙

喫煙状況

- たばこを「現在吸っている」が9.5%、「以前吸っていたが、今は吸っていない」が32.4%、「吸ったことがない」が57.2%となっています。
- 「現在吸っている」が男性で14.1%、女性で6.0%となっています。

問 あなたは、たばこを吸っていますか、または吸ったことがありますか。

(%)

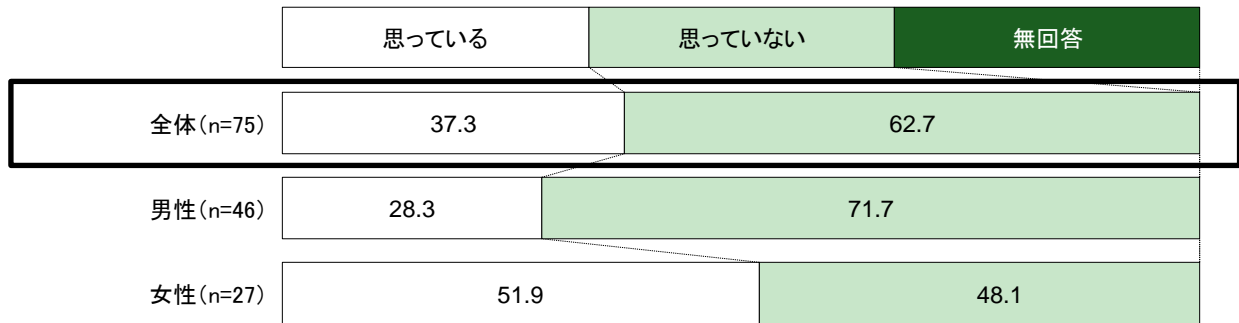


●禁煙意向 ※回答対象：現在喫煙している人

- 禁煙意向は、「(たばこをやめたいと) 思っている」が 37.3%、「思っていない」が 62.7%となっています。

問 あなたは、たばこをやめたいと思っていますか。(○は1つだけ)

(%)



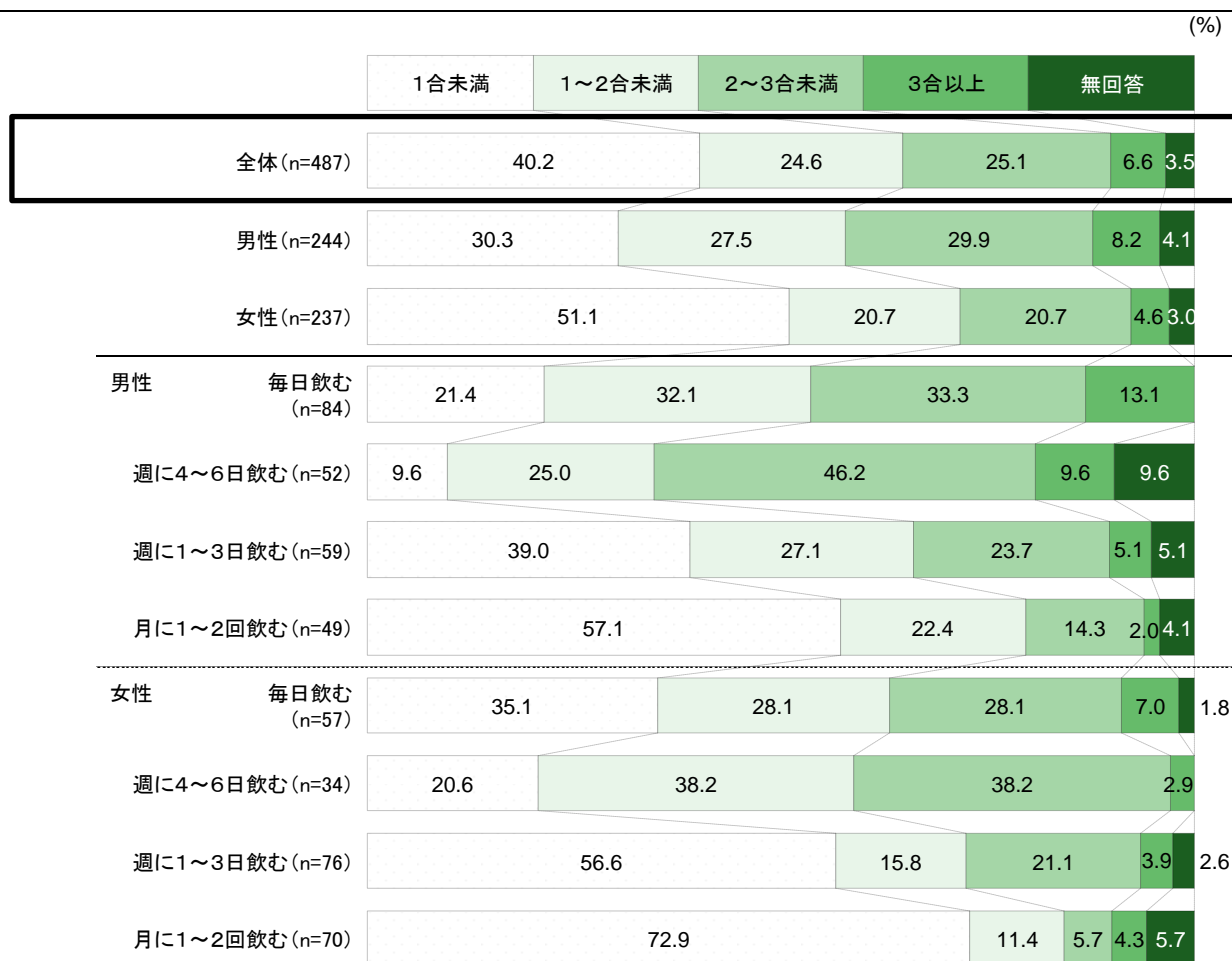
アルコール

1日の飲酒量 ※回答対象：お酒を月に1回以上飲む人

<飲酒頻度別 1日の飲酒量>

- 1日の飲酒量は、「1合未満」が40.2%、「1～2合未満」が24.6%、「2～3合未満」が25.1%、「3合以上」が6.6%となっています。
- 飲酒頻度別に1日の飲酒量をみると、「生活習慣病のリスクを高める飲酒量(男性2合以上、女性1合以上)」を摂取している割合が最も高いのは、男女ともに「週に4～6日飲む」人となっています。

問 あなたは、1日にどのくらいの量のアルコール類を飲みますか。



「節度ある適度な飲酒」は、1日平均純アルコール約20g程度（日本酒にして1日1合）です。

※換算表「日本酒1合同アルコール量」（純アルコールに対して20g）

種類	量	アルコール度数
日本酒	1合 (180ml)	15度
ビール	中びん1本 (500ml)	5度
焼酎	0.6合 (約110ml)	25度
ウイスキー	ダブル1杯 (60ml)	43度
ワイン	1/4本 (約180ml)	14度
缶チューハイ	1.5缶 (約520ml)	5度

アルコール量の 計算式	お酒の量 (ml) × [アルコール度数 (%) ÷ 100] × 0.8 例) ビール中びん1本 500 × [5 ÷ 100] × 0.8 = 20
----------------	---

「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」とは、1日当たりの純アルコール摂取量が男性で40g以上、女性で20g以上です。

こころの健康

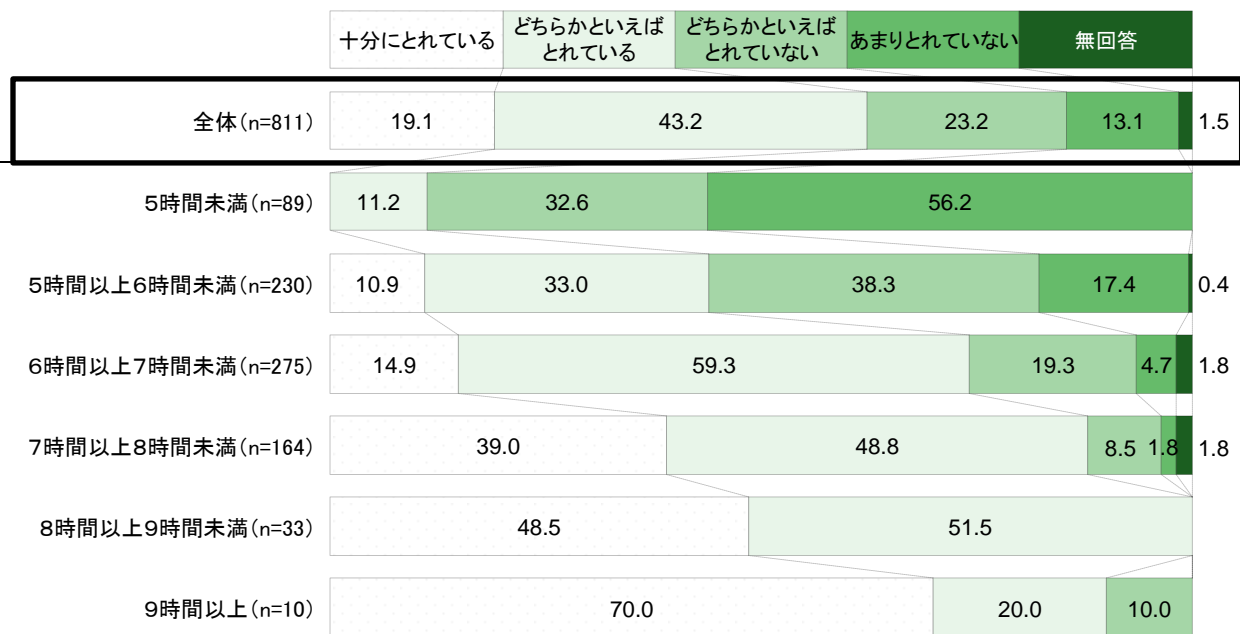
睡眠

< 1日の平均睡眠時間別 睡眠による休養状況 >

- 睡眠による休養は、「十分にとれている」「どちらかといえばとれている」人の合計が 62.3%、「どちらかといえばとれていない」「あまりとれていない」人の合計が 36.3%となっています。
- 睡眠時間の長い人ほど、休養が「十分にとれている」割合が高くなっています。

問 あなたは、睡眠による休養が十分とれていると思いますか。

(%)

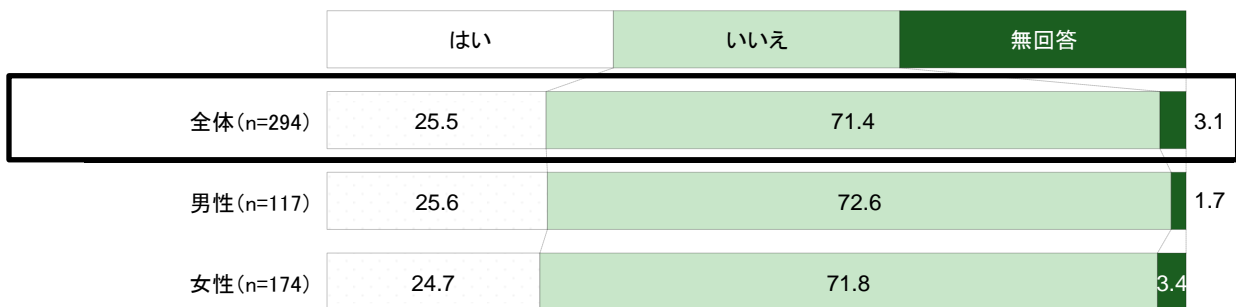


● 2週間以上眠れないことの有無 ※回答対象：睡眠による休養不十分者

- 睡眠による休養がとれていない人では、「はい(2週間以上眠れないことがある)」が 25.5%、「いいえ(ない)」が 71.4%となっています。

問 あなたは疲れているのに2週間以上よく眠れないことがありますか。

(%)

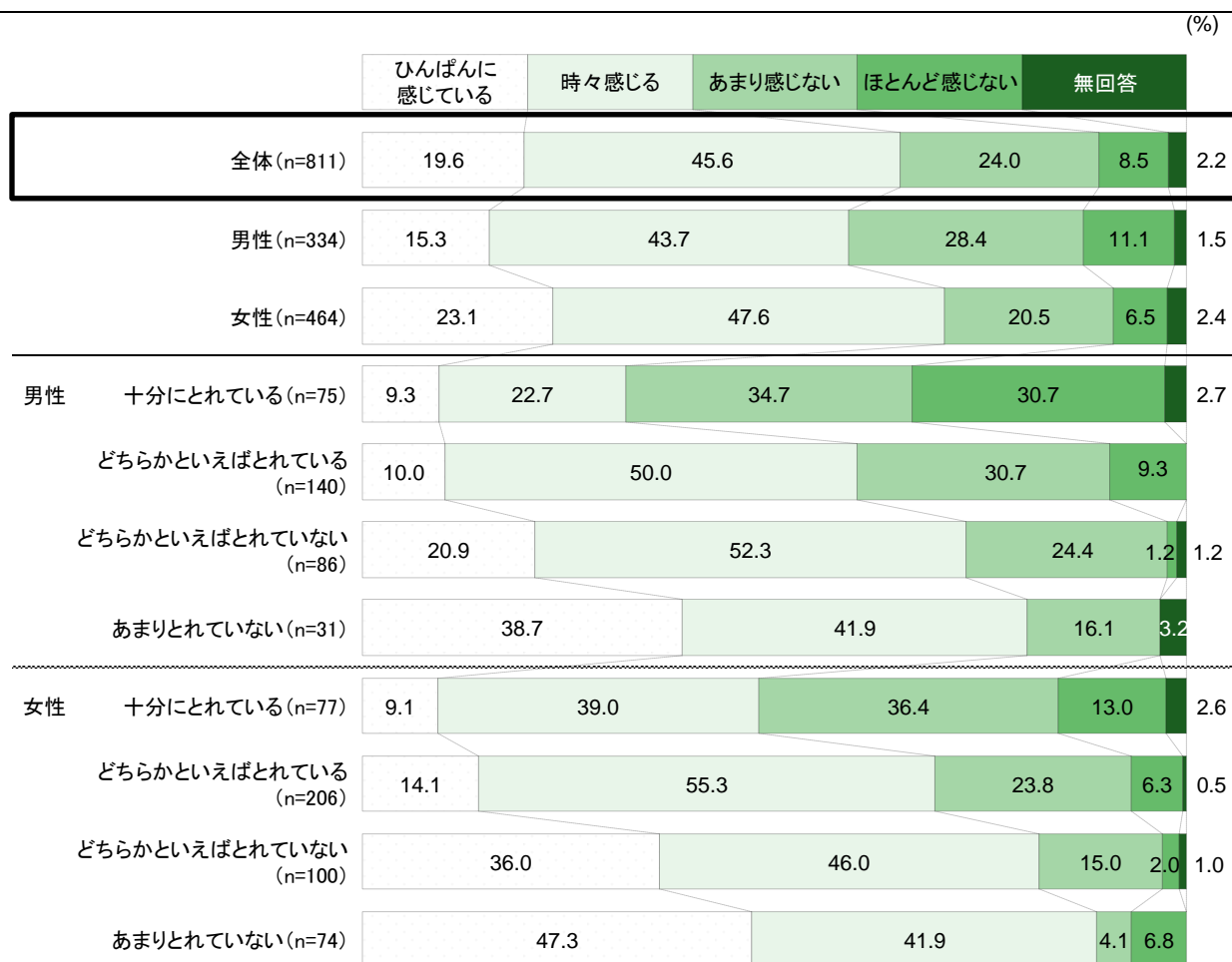


ストレス

<睡眠による休養状況別 ストレス状況>

- ストレスを「ひんぱんに感じている」「時々感じる」人の合計が 65.2%、「あまり感じない」「ほとんど感じない」人の合計が 32.5%となっています。
- 睡眠による休養状況別にみると、休養がとれていない人ほど、ストレスを「ひんぱんに感じている」「時々感じる」の合計が高くなっています。

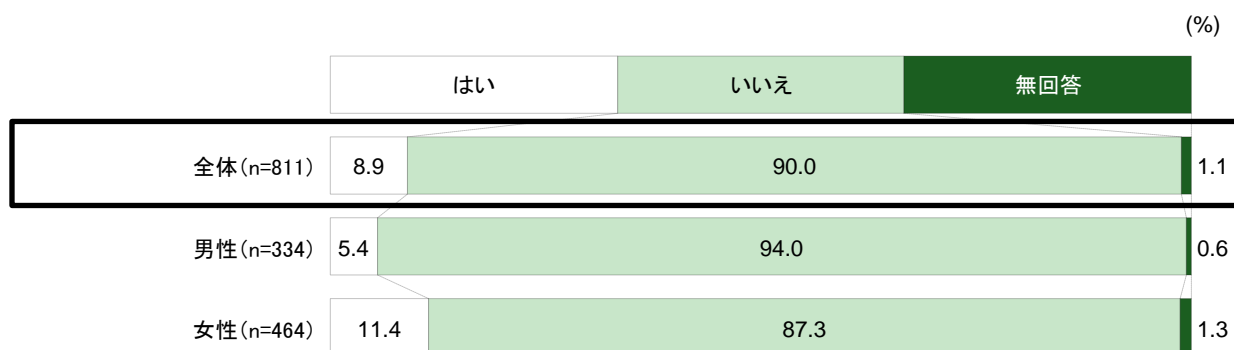
問 あなたは、ストレスを感じていますか。



自殺

- この1年間で死にたいと考えたことがある人は、8.9%です。

問 あなたは、この1年間で死にたいと考えたことがありますか。

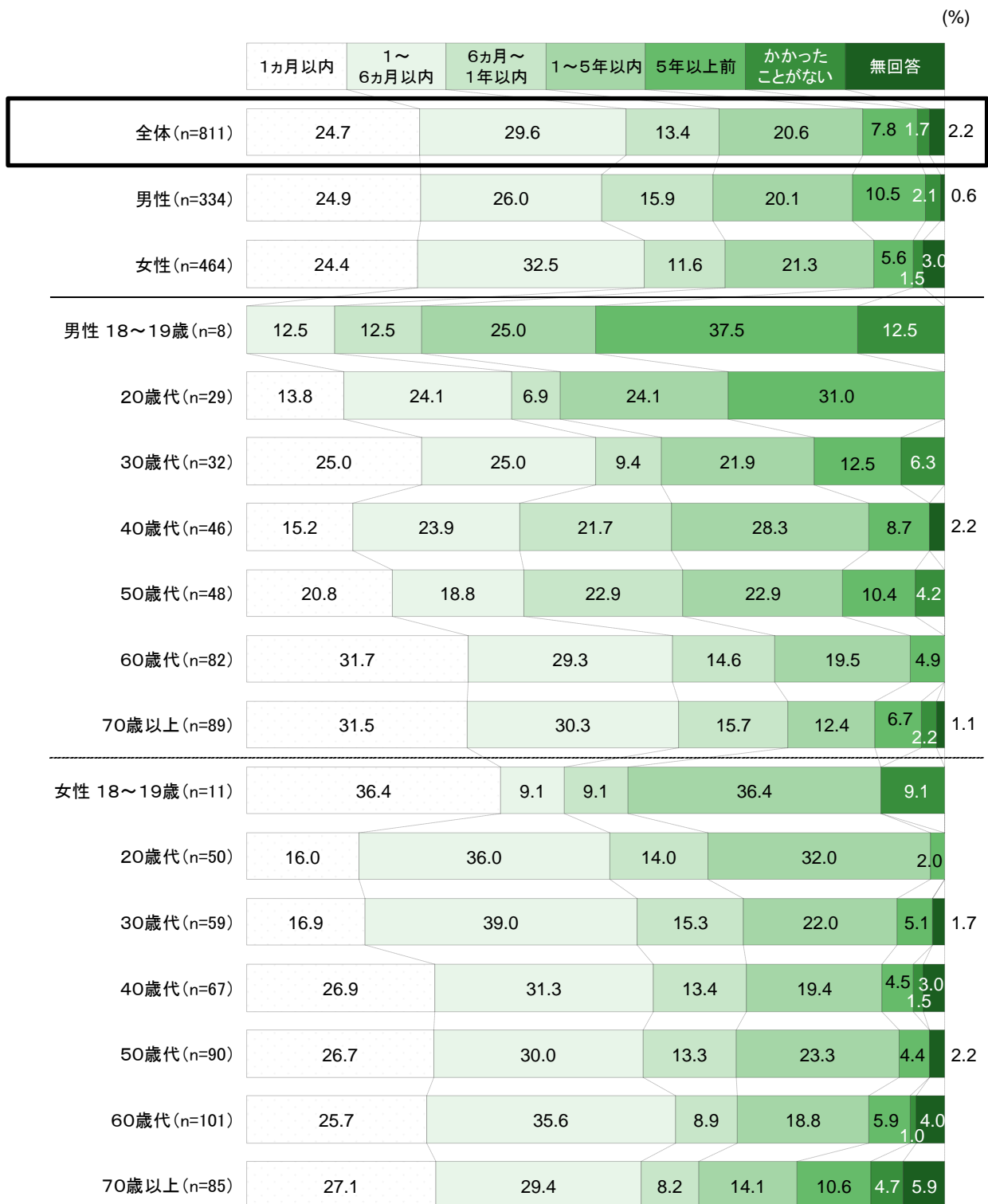


歯と口の健康づくり

歯科医院受診状況

- 1年以内に歯科医院を受診した人は 67.7%、「かかったことがない」人が 1.7%となっています。
- 男性 60 歳代以上の 75%強が 1年以内に歯科医院を受診しています。

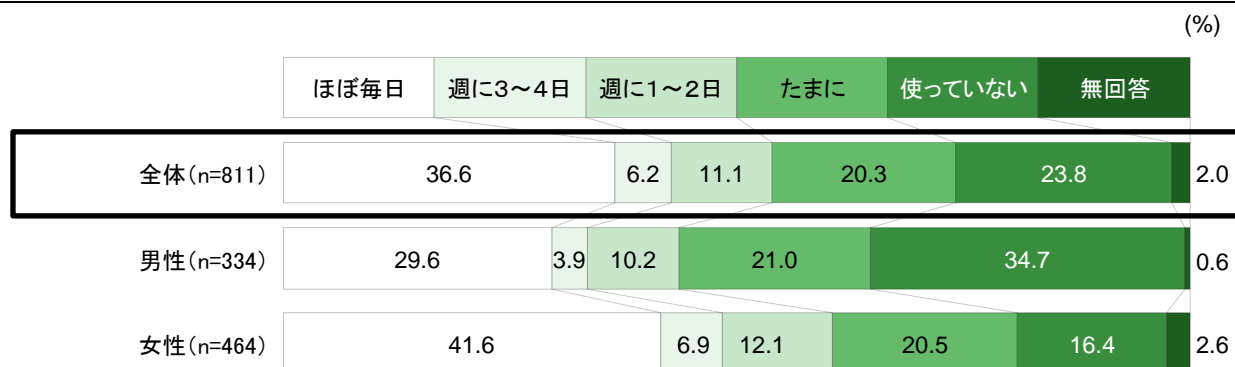
問 あなたは、最近「歯科医院」にかかられたのはいつですか。



デンタルフロスや歯間ブラシの使用状況

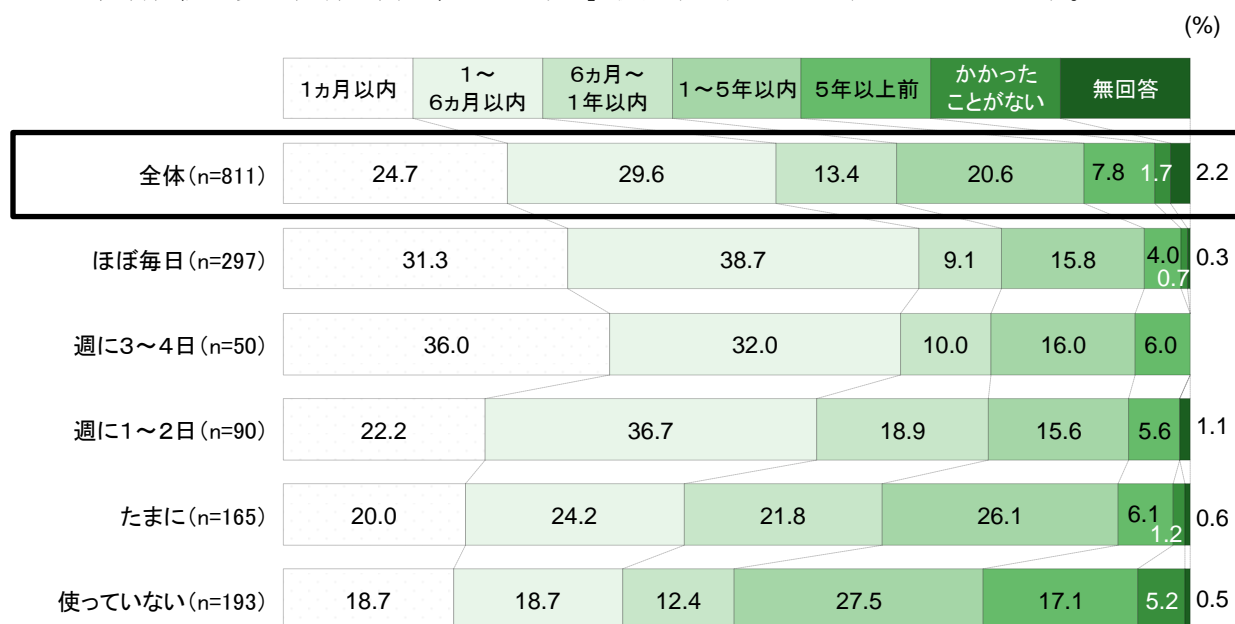
- デンタルフロスや歯間ブラシの使用状況は、「ほぼ毎日」が 36.6%、「使っていない」が 23.8% となっています。
- 女性では「ほぼ毎日」が 41.6%で、男性に比べて高くなっています。一方で男性では「使っていない」が 34.7%と、女性に比べて高くなっています。

問 あなたは、デンタルフロス（糸ようじ）や歯間ブラシを使用していますか。



<デンタルフロスや歯間ブラシの使用状況別 歯科医院受診状況>

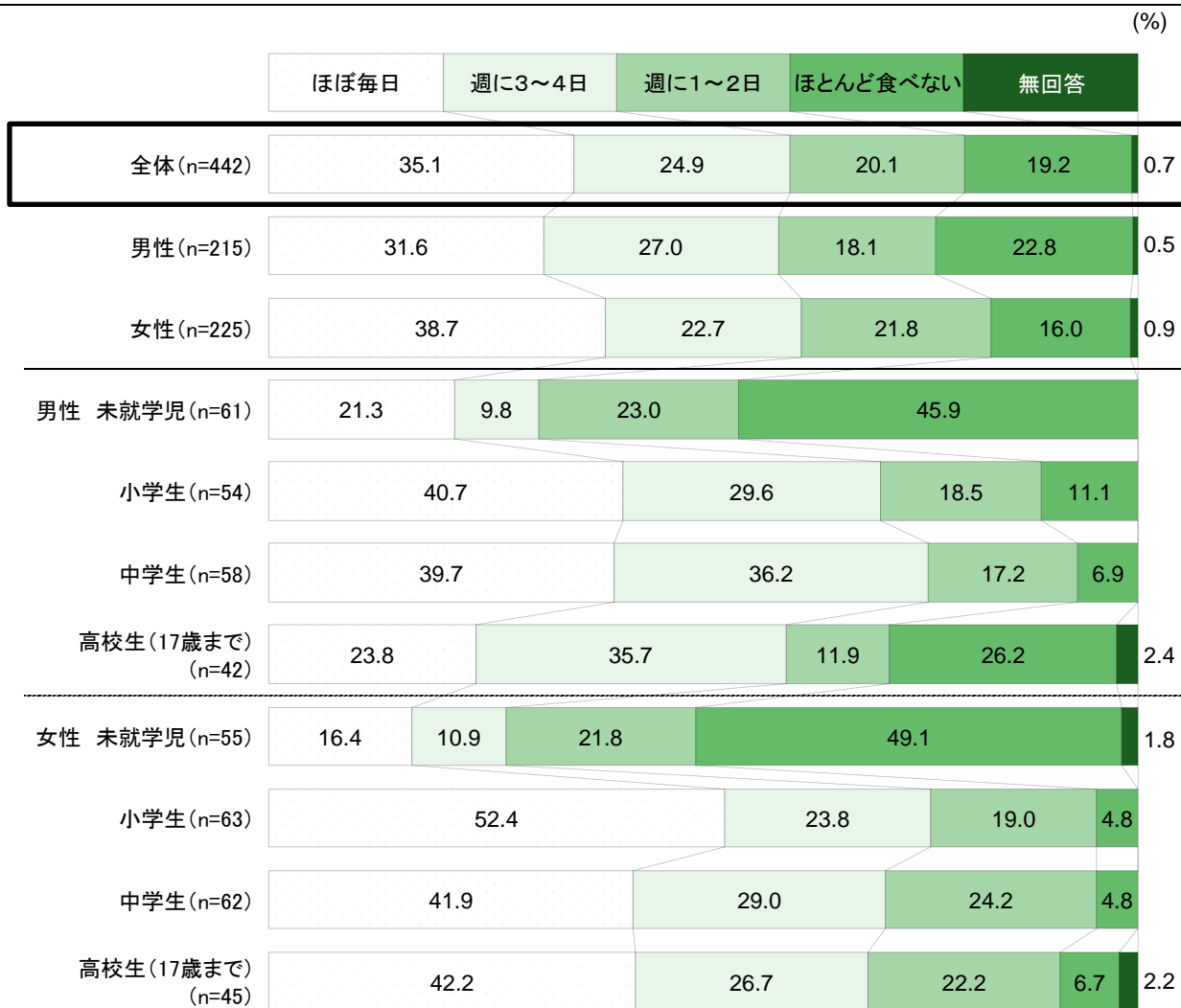
- デンタルフロスや歯間ブラシの使用状況別にみると、使用頻度が高い人ほど、1年以内での歯科医院の受診割合が高く、「ほぼ毎日」使用する人は 79.1%となっています。



子どもが甘いお菓子を食べる頻度

- 子どもが甘いお菓子を食べる頻度は、「ほぼ毎日」が35.1%、「ほとんど食べない」が19.2%となっています。
- 女性小学生では「ほぼ毎日」が52.4%で、他の性別・就学状況に比べて高くなっています。

問 あて名のお子さんは、あめ・チョコレート・アイスクリームなどの甘いお菓子を、1週間のうちにどのくらい食べますか。



中央区民の健康・食育に関する意識調査 報告書（概要版）
令和5（2023）年3月

発行：中央区保健所 生活衛生課
〒104-0044 東京都中央区明石町1-2-1
電話番号 03-3541-5936（直通）

登録番号 （刊行物番号）

4-091
